

記入例：公証人の登録によるフランス式協議離婚(日本国籍どうし)

離婚届

令和 年 月 日 届出

大使 殿
総領事

受理 令和 年 月 日
第 号

書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附

フランス方式で離婚された場合、用紙右側の証人欄は記入不要。

氏名は日本の戸籍に記載されているとおりに記入。

外国人は西暦、日本人は和暦で記入。

(フリガナ)	夫	トドケデ	リョウイチ	妻	トドケデ	ハナコ
(1) 氏 名	氏 名	届出	良一	氏 名	届出	花子
生 年 月 日	平成2年 4 月 3 日			平成4年 7 月 10 日		
住 所	フランス国ロワレ県オルレアン市 レタップ広場1番地			フランス国パリ市第8区オッシュ 大通り7番地		
本 籍	大阪府大阪市中央区大手前4丁目1番地					
(夫または妻が外国人のときはその国籍)	筆頭者の氏名	届出 良一 ()				
父母及び養父母の氏名 父母との続き柄 (右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください)	夫の父 届出 一郎 母 和子	続き柄 長男	妻の父 外務 太郎 母 良子	続き柄 二女		
(3) 離婚の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 協議離婚 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/> 調停 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 請求の認許 年 月 日確定 <input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定 <input type="checkbox"/> 判決					
(4) 婚姻前の氏にもどる者の本籍	<input type="checkbox"/> 夫は <input checked="" type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる 東京都千代田区霞が関2丁目2番地 筆頭者の氏名 外務 太郎					
(5) 未成年の子の氏名	夫が親権を行う子			妻が親権を行う子		
(6) 同居の期間	(同居を始めたとき) 平成30年 1 月から (別居したとき) 令和6年 3 月まで					
(7) 別居する前の住所	フランス国サルト県ルマン市サンピエール広場1番地					
(8) 別居する前の世帯の主な仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者の世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯					
(9) 夫婦の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 サービス職 妻の職業 事務職					
その他	令和7年1月4日フランス国の方式にて離婚成立。 同国サルト県ルマン市役所作成の婚姻及び離婚証明書、 及び公証人により登録された離婚協議書を添付。					
届出人署名 (※押印は任意)	夫 届出 良一 印			妻 届出 花子 印		

事件簿番号

(届出人の連絡先及び電話番号)

06-1234-5678(夫) 07-8756-4321(妻)

戸籍に記載されているとおりに日本語で署名。